

「陸前高田市体育協会の取り組み」

■「夢アリーナたかた」オープン

市から平成18年度より受託のスポーツドームに加えて、昨年4月にオープンした愛称「夢アリーナたかた」(陸前高田市総合交流センター及び陸前高田市B&G海洋センター：高田町字太田5番地)の受託運営を行っています。

多目的ホールはバレーボールコート3面、アリーナは2面の広さ。8月に大相撲巡業の会場となり、全横綱や力士たちを約3千人の観客が歓迎しました。

海に見えるトレーニングルームでは朝9時から健康志向の男女が汗を流し、25m6コースの温水プールには市民に加え近隣市町からもスイマーが訪れ、主催教室の児童生徒や水泳部の高校生で終日賑わっています。



夢アリーナたかた 全景



大相撲2018



夢アリーナたかた 多目的ホール

■新運動公園整備による交流促進のまちづくり

市では、東日本大震災で被災した野球場やサッカー場、屋内練習場等を高田松原津波復興記念公園内に再整備することで、青少年の健全育成やスポーツ振興のみならず、観光や津波防災教育、スポーツ活動の拠点として交流人口の増加を図ります。

「夢アリーナたかた」や、岩手県が広田地区に再整備予定の野外活動センター、現在整備中の高田松原ビーチ等を全国に紹介し、長期滞在可能なスポーツ大会や合宿、防災、文化に関するイベント等の誘致を行うほか、企業やプロスポーツチーム等と連携した各種スポーツイベントの開催を図ります。

■障がい者スポーツやeスポーツの展望

第4回目となる復活の道しるべ陸前高田応援マラソンには、初参加となる車いすや視覚障がいのランナーを含む市内外からの約1,200人が11月に集い、1.9キロから10キロのレースを楽しみました。今後、新しい競技種目の検討もさらにすすめていきます。

競技性のあるコンピューターゲームにより複数で対戦するエレクトロニック・スポーツ大会(eスポーツ)は、競技者はもちろん大画面により観客も楽しめるもので、夢アリーナでの県内初の大会の開催を目指します。



マラソン2018